

2024 年度
名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻
博士前期課程 建築学コース
入学試験問題

専門科目 I (計画系・設計製図)

【 設計製図 】

一般選抜（普通入試）

留学生特別選抜

社会人特別選抜

令和 5 (2023) 年 8 月 24 日 (木) 14:40~18:40

受験番号	
------	--

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、設計製図の問題である。問題はこの表紙および白紙 1 枚と、問題 3 枚の計 5 枚からなる。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し出ること。
- 2) 本冊子の ホチキス止めを外さないこと。
- 3) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。
- 4) 本冊子の他に、答案図面用紙（ケント紙）1 枚、エスキス用紙（トレーシングペーパー）1 枚、受験番号シールが配布される。
- 5) 試験終了後、答案図面用紙の裏面右上に受験番号シールを貼ること。
- 6) 答案は 日本語で解答すること。
- 7) 試験終了の合図があったら、答案図面用紙、エスキス用紙、本冊子を製図板の上に置き、試験監督者の指示に従って退室すること。

設計製図

近世民家に関する大学研究所を中心とする複合施設とその外構を設計しなさい。

1. 趣旨

A 大学は B 県の中山間地で、①近世民家に関する研究者のための研究所 ②地域住民との交流施設 ③観光案内所を複合した施設を整備することになった。前提条件は以下の通りである。

- ・ 利用者は、主に研究者・地域住民・観光客・事務職員とする。
- ・ 当該施設は、B 県の中山間地域における活性化中心施設として位置付けられており、地域住民との交流を積極的に行うことが求められる。
- ・ 隣接する敷地には、国重要文化財に指定された「本棟造」の近世民家が建つ。
- ・ 敷地内にあるスギ屋敷林 8 本（いずれも樹径 1m、樹高 15m）とケヤキ（樹径 1.5m、樹高 25m）は、保存樹木である。ケヤキは県指定天然記念物であり、道祖神とともに円形基壇（直径 4m、高さ 1 m）の上にある。
- ・ 敷地は豊かな自然に恵まれ、南側は十数キロメートル先に 2,000m 級の山並みが遠望できる。
- ・ 利用者は、自家用車または公共バスを利用し来訪する。なお、隣接敷地の近世民家について、一般利用者は北側前面道路を土壠沿いに沿って西へ向かい、前庭を経由して表門に至る。研究者・事務職員は、通用口から直接民家に至る。

2. 対象敷地

- 1) 敷地周辺は南垂れの緩傾斜地であるが、敷地内は平坦である。
- 2) 敷地は、北側と東側の前面道路（いずれも幅員 8m のバス通り）に面する。隣接敷地側には水路（幅 1m、水深 0.5m）と土壠（幅 3m、高さ 1m）がある。
- 3) 敷地入口は北側または東側とする。
- 4) 用途地域：白地地域（容積率 200%、建ぺい率 50%）
斜線制限と日影規制は配慮しなくてよい。

3. プログラム

- 1) 全般
 - ・ 延床面積は 1,000 m²程度、階数は 2 階建て、構造は自由とする。
 - ・ 必要諸室とその規模は、下記の条件を満たすこと。各室の面積は目安であり、機能を満たせば、必ずしも壁で間仕切る必要はない。

2) 必要諸室

①研究機能

- ・ 小会議室 : 50 m² 平土間とし、可動式の机と椅子を設置すること。
パーティションで2つに分けて使用可能とすること。
 - ・ 研究室 : 25 m² × 2室 研究者2名が独立して研究可能とすること。
 - ・ 倉庫 : 適宜
- ### ② 交流機能
- ・ 資料室 : 80 m² 近世民家に関する和綴文献資料保管棚と調査資料を広げて検討するための机を常設すること。保管棚は、鍵付キャビネットとし、開架式配架とすること。
 - ・ 交流スペース : 120 m² 平土間とし、講演会や展覧会の利用を想定すること。
 - ・ カフェ : 120 m² 研究者・地域住民・観光客・事務職員の交流を目的とする。
 - ・ 倉庫 : 適宜
- ### ③ 観光機能
- ・ 事務室 : 30 m² 本施設共通の事務室を兼ねること。事務職員2人、打合せスペースを含むこと。

④ その他

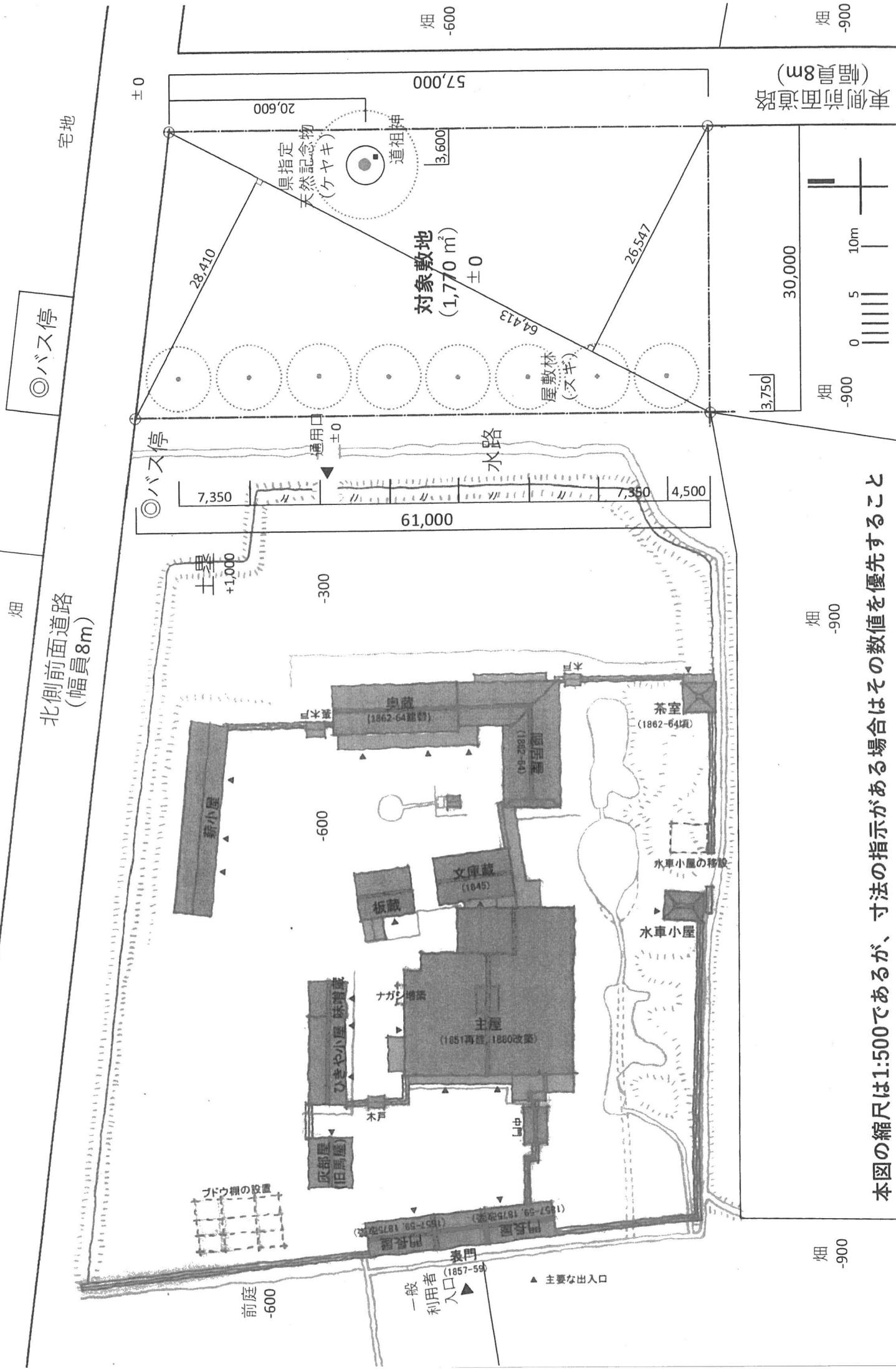
- ・ エントランスホール : 適宜
- ・ 便所 : 適宜 (多機能便所を含む)
- ・ 階段・EV : 適宜
- ・ 機械室 : 30 m²

3) 外構

- ・ 一般利用者と研究者・事務職員の動線を考慮し、保存樹木に対する建物配置と造園の設計を行うこと。
- ・ テラスまたはバルコニー：屋外空間と屋内空間を一体的に利用できるスペースを設けること。
- ・ 駐車場7台 (研究者・事務職員の駐車場を含む)

4. 必要図面

- 1) 配置図兼1階平面図 (S=1/200) : 保存樹木を含む敷地の植栽・舗装等の外構を表現すること。主要な家具を記入すること。
- 2) 2階平面図 (S=1/200) : 主要な家具を記入すること。
- 3) 断面図 (S=1/200) : 1面、保存樹木を表現 (部分でも可) すること。
- 4) パース : 意図した空間を最もよく示す外観または内観1面
- 5) 設計主旨 : 200字程度の文章および概念図によって設計主旨を示すこと。



本図の縮尺は1:500であるが、寸法の指示がある場合はその数値を優先すること